

中 岳

迎春

平成6年



熊本市歯科医師会会誌

第 84 号

中根会長 年頭の辞

新年パーティー

特集 中根執行部を振り返り

第5回 三 歯 会

目 次

年 頭 の 辞	中 根 俊 吾	1
新年パーティー	西 口 和 弘	2
6 年間の中根執行部を振り返り		
1) 座談会	永 野 忠	4
2) 各担当理事より一言		8
第12回九州八市歯科医師会役員連絡協議会		11
救急蘇生法研修会	松 永 久	12
第15回ビデオ研修会		
「今、手をつけられる院内感染予防」	松 永 久	13
委員会だより		
学校歯科委員会		15
社保委員会		16
口腔衛生委員会		17
第 5 回 三 齒 会		19
勉 強 部 屋		
「多数歯欠損症例への対応」	添 島 正 和	21
本 日 休 診		
「バラ打ちトリオと呼ばれたゴルフ人生と私の健康」	合 澤 康 生	24
ひ と り ご と		
「細川首相の侵略発言について」	徳 永 俊 英	26
「歴史に学ぶ」	下 山 純 生	28
「At. random」	才 田 雅 英	29
一 枚 の 写 真		32
スポーツの広場		34
新入会員紹介		35
救急蘇生法研修会名簿		36
会 務 報 告		38
編 集 後 記		

年頭の辞



地域歯科保健 福祉システムの確立を

会長 中 根 俊 吾

新年おめでとうございます。年頭にあたり会員各位、ならびにご家族皆様には健やかに新春を迎えられたこと、謹んでお慶び申し上げます。

旧年は会務の全般に亘り、多くのご教示とご協力を戴きましたことに心よりお礼を申し上げます。

ご承知の通り、政界の変革と混沌は予想をはるかに越え、又、経済不況は底の知れない状況を呈しており、社会全体が大きな転換期を迎えています。このことは私共の歯科界にもさまざまな形で影響が出てくるものと考えられます。特に医療に係わる法令や診療報酬にどのように波及するのか、予断を許さないところです。

しかしながら本年の診療報酬改定については、私共の経営の安定化、医療環境の整備、ひいては国民の健康保全のために、診療行為の適正評価と適切充分な改善が盛り込まれることを強く望んで止みません。

ところで、熊本市は明るい未来に向けての新熊本構想が具体化されつつあります。保健、福祉についても、国の方針にならないながらも熊本市レベルでの多くの積極的な施策が打出されています。これに伴い、私共歯科医師会も将来に亘る展望をもった歯科保健、福祉の推進システムの確立が急務であるといえます。その基本となるものは、生涯を通しての歯科健診、教育、指導管理です。

私共は、私共の職責として大きな視野に立って地域の人々の健康保持と、福祉に貢献し、クオリティ・オブ・ライフを高めることに努力しなければなりません。

本年も、今迄以上に関係機関と充分な検討を加えながら、各々の責任分担を明確にし、地域社会の要請に応じていく所存です。そのためには、会員皆様の一層の団結と英知を結集して頂きますと共に、旧年にも倍しての会務へのご理解、ご助力の程をお願い申し上げる次第です。

こゝに、会員各位ならびにご家族皆様のご健勝とご多幸を心から祈念いたしまして、年頭のご挨拶といたします。

「殻を破り、新芽が出、若木陽気を生む」をテーマに

— 平成6年新春懇親パーティー —



会員、御令室、御来賓総数163名を集めた新年会会場

1月22日（土）午後6時半よりニュースカイホテル（すいしょうの間）において、毎年恒例の熊本市歯科医師会新春懇親パーティーが開催されました。今年は、甲（きのえ）戌（いぬ）にちなみ「殻を破り新芽が出、若木陽気を生む」をテーマにかかげ、会員、御令室様合わせて163名の御出席をいただきました。厚生委員奥田洋実先生の司会進行のもと、中根会長及び御来賓の県歯科医師会副会長福富先生、熊本市保健衛生局長工藤磐氏の御挨拶、県議三角保之氏、市議荒木哲美氏の御挨拶と続き、その後永年勤続功労者表彰に移り、本年は3名（田上学、鶴田実馬、山隈龍祥先生）全員御出席いただき、代表されて山隈先生より謝辞がありました。その後、新入会員の紹介に移り、4名中2名の御出席を得、黒木幸一郎、山部英則両先生のそれぞれユニークな自己紹介をいただきました。続いて、市歯科医師会新職員、長寿の里迫雅裕先生及びスタッフ2名、在宅医療専属衛生士本田志保子氏の紹介の後、鶴田実馬先生の御発声で乾杯となり祝宴に入りました。おいしい料理に舌

づつみをうち、宴に親睦の輪が広がっていきました。会話が一段落した8時すぎから毎年恒例のお楽しみ抽選会に入り、番号が呼ばれる度に一喜一憂しながら楽しい時間が過ぎてゆきました。最後に、鈴木副会長の閉会の辞と共に、平成6年がいい年でありますようにと祈りつつ、幕を閉じました。



鶴田実馬先生による乾杯の御発声

（厚生委員 西口和弘）

〈新年会場でのワンショット〉



永年勤続功労者表彰を受けられる3人の先生
(田上学・鶴田実馬・山隈龍祥先生)



例年より少なかった新入会員2名



先生確か去年もミカンを持っていたネ!



殻を破り、封筒を破り中身を調べる



富岡先生、それは似合いすぎます?



1年1回、奥さんゴメン



このヌイグルミは主人より可愛がるワ



主役はマイクを持った私です。
誰にも渡しません。

特集

6年間の中根執行部

を振り返り



出席者 中根会長
関専務理事
鈴木副会長
菅原常務理事
杉野 〃
広報委員会、寺協理事
他4名

司会 年も明け、はや2ヵ月が過ぎました。中根会長が就任され6年がたちますが、その6年間を振り返り、その業績を確かめ、問題点があれば掘りおこしてみるよい時期になったのではないのでしょうか。そういう目的でこの会を企画しました。御協力の程よろしく申し上げます。まず会長より総括的な見地から一言お願いします。

会員の協力に感謝

中根会長 何といても6年間会員みなさんにいろいろな事業に協力していただきおかげでまがりなりにも会の執行がスムーズにいき、明るい展望がひらけてきたことをまず申し上げておきます。いろんな面で市民に対しての我々のアピールは行き届かなかったわけですが、行政と一体となって働きかけたいという気持ちがあった。

反面いろんな事業行事をすることによってみなさんに押しつけがあり、非常にご苦勞をかけたかなという点もあったのではないかと思っ

ている。

鈴木副会長 会長がおっしゃった通りだろうと思っていますけど、私たちは会長の希望や思いに対してどれだけ対応できるかということが、我々にとっては問題でした。その中でもこの6年間過去においてなかったような行政とのつながりを持って、歯科医師会独自ではできないことを行政にお願いできるようなパイプができたことは多いに評価されるべきと思う。また、現在いろんな事業が順風満帆で動いていることは非常に成果があったことを明記して下さい。

司会 それでは、細かい点に入っていこうと思います。三つの事業、後方支援病院、緊急時の歯科医師の派遣、在宅寝たきり者訪問診療について各々についての評価や問題点があればお願いします。

福祉という面に目を向ける

関専務理事 後方支援病院、緊急時の歯科医師の派遣については、医療管理委員会の中で赤城

理事をはじめ、役員の先生が一生けんめいにやられています。この結果我々会員の中で非常に安心して歯科診療ができるようになったことは、大きい成果だと思っています。

緊急時の歯科医師の派遣については、6年間経過するわけですが、その間に6件が処理されたと思います。これは自分自身がこの恩恵にあずかりました。私の場合急きょ盲膜剥離ということで入院するという事態になったんですが、この事業のおかげで、その日から代診が来ていただき非常に助かりました。

在宅寝たきり訪問診療は平成3年7月から、長寿の里の歯科診療所が今年の1月から動き出しました。これにつきましても流れというものがずいぶん変遷してきていると感じています。その変化とは、福祉という面に目を向けていかなければ医療は成り立っていかないと私は思っています。具体的には、在宅の寝たきり診療の中でもっともケアのことを充実することと考えています。



とにかくこの事業に対して一般の人々の評価が高い。とくに医師会の歯科医師会を見る日が非常に変わってくることを感じています。

また長寿の里につきましてもいろんな分野で幅を持った長寿の里のデイサービスセンターの歯科診療室にしていきたいと思っています。それからもう一つ、企業検診の検診部会というものを作りました。これは現在市役所及びその家族に対する検診ですけど、これをもっともっ

進めて熊本市の企業全体の検診事業までもっていきたいと考えております。

司会 他の事業は考えられていますか。

関専務理事 今のところはありません。これは会長の意向ですけど、今の事業をもっともっと充実していきたいと考えております。

司会 歯の衛生週間のイベント行事が少し物足りないような感じがしてなりませんが、何か考えられていますか。

関専務理事 現在のところ歯の衛生週間時には、熊本市としては「母と子のよい歯のコンクール」の熊本市選出ということだけやってきました。それを今年度から広く一般市民にむけて検診ということで、市役所のロビーをお借りして昨年から行っています。これとは別にもう一つ衛生総務課と保健課と協同で、11月15日から1週間社保と医療管理委員会が担当して、この1週間を健康づくりの週間ということでもうけました。これも市役所のロビーを利用して、歯科の啓蒙活動ということで今年度から行うようにしました。

菅原常務理事 歯の衛生週間をやっていますが、県歯科医師会と同じことを同じような時にやっている現状なのですが、将来的に市独自のものを考えたいものです。今年から始めた口腔衛生委員会が中心となってやってみた一斉無料検診もその一つの形なのです。いろんなことをやっていきたいと思うんですが、なかなかこれといったヒット商品というものがでてこないのです。何かいいアイデアがありましたらお知らせ下さい。

司会 現在の市歯科医師会の収支の状況をお知らせ下さい。

きびしくなる財政状況

杉野常務理事 平成4年度から5年度にかけて、平成4年度の単年度でみますと約80万円

の赤字でやっている。赤字が出ておりますが、前年度の繰越金が1,300万円程ありましたので、今のところ繰越金で、やっているというのが現状ですね。まあ繰越金というのが、毎年100万ずつへってきてますので、まだ4～5年はいいかなあという感じがします。しかしさきほど、常務会でも今予算編成、平成6年度の予算編成をやっておりますけれど、収入減ということも考えられます。というのが平成4年度は新入会員が12名おりまして入会金が3,600万円程ありましたけれど、平成5年度12月現在では2人です。ですから600万円ということで、喜んでいいのか、会計上は利息を含まないので、ちょっときびしいなあという感じはしております。平成6年度からは、本会の収益事業が協同組合の方に移行しますので、150万～200万円位の収入減を予想しておかないといけないということです。利息も今の状態ではほぼ前年度位の伸びだろうということもありますから、次年度各委員会から出されます予算が1月に出ますけれど、それに対しては私たち常務会としましては約10%位のカットを見直しするような事業内容でお願いしようという感じです。将来的に、私は会館建設が絡んできて、その時は会費等の見直しがされるんじゃないか、しなければいけないんじゃないかと思っています。これは、何年先かわかりませんが…。そして今市の歯科医師会の会費がいわゆる均等割と保険の1,000分の1でやっておりますけれど、均等割になった方がいいんじゃないかということも考えておりますけれども、これもまた会館建設等の時に考えればなあと、今のところそういうふうに思っておりますけれど…。

司会 会費の項目で後でたずねようと思いますけど、いまの現状の運動や活動も減らさなくてはならないかもしれませんね。厚生、福祉の事を菅原先生お話し下さい。ボウリングにかわっ

てけがなくなり、支部長さん方も安心されているかもしれませんが、バレーボールのような盛り上がりにかけているような気がしますけど。

会員の為のほんとうの福祉、厚生を考えたい

菅原常務理事 今、熊本市の厚生というのが今パーティとボーリング大会、今度から始まったゴルフ大会という3つのイベントを行っています。やはり時代に即した親睦というのが、私たちの会の団結のために必要です。年に一回ぐらいいはお年寄りから若い人の参加できるイベントを作って、縦のつながりのいい面をもっと充実したいと思っております。私自身の考え方ですが対外的にはある程度の評価も受け、成績も上がってきていますが、反面300名の会員に対して自分たちは何をしていたのだろうと自問自答してみると何もできなかったのではなかろうかという結論にたどりつくようです。夢のある歯科医師会を作るのは、ほんとうに夢なのかもしれませんが、会費を会員の利益の為に使い、例にあげるならば、私達自身の退職金制度も考えてもいいんじゃないでしょうか。

司会 それでは会が抱えている問題。特に会館建設、会費の見直しの2点についてお願いします。

会館建設は、まだ結論はでてない

市の会費は九州で二番目に安い

鈴木副会長 熊本市歯科医師会の考え方は、決まっているわけではなく、現在の状況は、建設したらどうですかという報告書が出ています。ですからつくるかどうかもまたお金の問題も決まっているわけでもありません。実際いろんな細かい問題について考え方があると思いますが、みんなの承諾をとりつけた時に会館は作るべきだと思います。

収入減はさけられないと思いますが、委員会

の活動費をおさえることにより、それに対処していこうと思います。なお市の会費は九州八市の中で二番目に安く、それでも活動内容は他に誇れるものであると自負しております。なお万が一会費の値上げを考えるならば、歯科医師自体の組織を改革をしてから考えるべきではないでしょうか。一切の無駄をはぶく、それでも不足ならば会員に対して説明し承諾をえることができると思っています。

司会 現在私たちの会の中で臨時委員会がいくつか設立されいろんな面で活動しています。名称が複雑であったり、役目がわかりにくいので、ここで説明していただければありがたいのですが。

現在の臨時委員会について

関専務理事 私たちは、歯科保健推進臨時委員会というものを作り、その中に在宅寝たきり者歯科診療推進部会を作り、長寿の里の歯科診療推進部会、企業検診推進部会を作りました。それにまだ活動はしておりませんが、健康増進センター推進部会をつくっております。これは、健康増進センターを助成、協力するために設立しています。ですから今のところ熊本市歯科推進臨時委員会の中でこの三つが活動しているわけです。将来的には、在宅寝たきり者の事業、それから長寿の里の事業、それから企業検診の事業の対外的な事業に対して、歯科保健協議会というものを設置したいと考えております。三つの事業を1つにまとめ上げて、対外的な事業をやっていくわけです。もう1つは会務総合検討臨時委員会というものを今年度から作ったわけです。これは文字通り、会務そのものを総合的に検討していきたいという目的で作りました。その中で熊本市歯科医師会は3年後に創立60年を迎えようとしているので、その時期を目指して年史、年表を盛りこんだ会誌を作っていくた

いと考えているわけです。

司会 今年、平成6年度も歯科界の前進はますます激しく、会務もむずかしい局面を迎えようとしています。最後に中根会長にそれを吹き飛ばすような新しい年を迎えての抱負をお願いします。

将来を悲観せず、それをくつがえす 気力、努力を望みたい

中根会長 今歯科の流れというものが変わってきている。今後ますます変化するといえます。保健と医療と福祉というふうな連携の上で、歯科の問題も考えなくてはなりません。この5～6年の内に非常に大きく変わってくるんじゃないかという気がします。この間に我々がどのように取り組んでいくのか、それによって新しい展望が開けてくるのではないかと思います。

今後社会的に果たす役割は、ケアにウェイトが出てくるだろうと思います。診療したあとにねたきり者にケアサービスをしていくことによって、ある程度の社会復帰まで私共が手助けが出来るという状況が生まれてきつつあるんです。福祉に携わるところが大きな命題じゃないかと思います。野村総研の調査結果で歯科は今後ますます落ち込むという予想が出ています。このデータを見てみんなが落ち込むといって、将来を悲観してはいけないと思います。悲観しては何もできないし、社会に何の貢献も出来ないというならば、私共の使命は果せないと思います。逆にどう変えていくかの努力が今後必要であり責任があるのではないかという気がします。

司会 6年間ほんとうに御苦勞様でした。次の執行部も現執行部同様明るく、何でも意見を述べられるような執行部でありますように願ってこの会を終わりたいと思います。

ありがとうございました。

(広報委員 永野 忠)

各担当理事より一言

広報担当理事 寺 脇 博

2年連続熊日広報コンクール入賞



中根会長のもとで広報委員会を担当して、早や6年が過ぎようとしています。

この6年間の任期中で最も印象に残った事、うれしかった事は、熊日広報コンクールに2年連続して入賞できた事でした。

当初より一貫して会員の皆様方に読んでいただける会誌を目指してきました。委員会全員で頑張ってきて、その成果が出ているのではないかと自負しておりましたが、公的にも認められた事で励みにもなりました。

また、今の広報委員会が一番誇れる所はチームワークです。

毎回委員の先生方一人一人が忌憚なく意見を出し合い、全員でより良い会誌作りに邁進してきました。しかし、これをもう一山越えるためにはより洗練されたセンス、より高い目標に向けた努力が必要だと思えます。

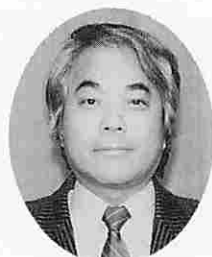
最近では原稿を依頼した先生方も快く引き受けていただき、感謝いたしております。

会誌が、より良いものになれば、もっと多くの先生方に自分の考えというものを紙面に表していただけるものと思います。会員の先生方が作る会誌ができれば最高だと思っています。

今まで「中岳」へ投稿していただきました先生方には、この紙面をお借りして厚く御礼申し上げます。

医療管理担当理事 赤 城 公 徳

代診制度4件、後方支援病院事業6件



不安一杯で医療管理理事を引き受けましたが、委員の先生方の御協力により無事任期を終えようとしています。

富田理事より引き継ぎました後方支援病院事業は過去6年間で6件〔神経系2件、循環器系2件（脳出血1件、狭心症1件）、誤飲1件、その他1件〕が報告されていますが幸い大事にはいたっておりません。

又代診制度につきましても4件（院長急死の為1件、院長入院2件、自宅療養1件）が遂行されています。昨年からは医療廃棄物処理が処理業者を通して行なわれるようにと努力中です。

今年度中には熊本市の許可を受けた業者と契約をお願い致します。

最後に年度内に就業規則の手引書を発行する予定にしています。

戸惑いばかりが先に立ち、会長はじめ理事の先生方や会員の先生、委員会の先生方に御迷惑をおかけいたしましたことをおわびいたします。

厚生担当理事 古 賀 明

ボーリング大会の開始に苦労



より多くの先生方及びスタッフの方々が参加出来、一人でも多くの会員の声が聞ける様その機会を提供し、一層の親睦を深める事を目標に、今期

3年間厚生委員会の活動を行いました。

もっと幅広く会員及びスタッフの参加を募る為に15回も続いたバレーボール大会を終了し、ボーリング大会に切り換える事は大変勇気のいる事でした。各支部長先生に御相談した所、賛否両輪はかなりありましたが、ゴーサインでまとり感謝致しております。又このバレーボール大会を始められた宇都宮先生並びにバレーボール大会の功労者菅原先生には快く賛同頂き、感激致しました。

お陰様で第1回ボーリング大会は250名、第2回は300名以上の参加で、人数を制限しなければならぬ程盛会で、胸をなでおろした次第です。

新年パーティについては毎年200名前後の会員の出席を頂き、又最近では若い先生方の出席も多くなり、皆様が気軽に出席できるパーティにしようと心がけております。又料理も和食、洋食、中華と頭を悩まして毎年変えております。約30組の同伴が見えられますが、もう少し奥様の出席があればと考えております。

9月に定期に行っております健康診断は年々受診者数が増え、会員100名スタッフ150名前後の数となっておりますが、これでも全体の30%を越える位です。他の郡市会は殆んど50%以上で、熊本市もこれを目標としております。昨年は女性だけの受診日を設けましたが、連絡の不行届でご迷惑をおかけしました。又第1回のゴルフ大会を9月に会員68名の参加で、なごやかに行いました。しかし集計方法、支部対抗戦等で難点があり、個人戦だけの大会にすべく、委員会で反省した所であります。

3年間、以上の行事で活動しましたが、パーティ司会担当の奥田先生、席次表作成の西口先生、ゴルフ担当の齊藤修身先生、私の愚痴を何度となく聞いて励ましてくれた柿原委員長、内田隆、吉永両先生3年間御苦勞様でした。あなた方のお陰で無事任期を務める事が出来ました。心より御礼申し上げます。

学校歯科担当理事 岡田 知久

生徒数1,000名以上の学校歯科医を2人制に



学校歯科委員会を担当して一期3年間が終わります。年度始めに8項目の事業計画を立て事業計画どおり、つつがなく実施して参りましたが、こ

れもすべて委員会の諸先生方の協力のお蔭だと感謝し御礼申し上げます。

又、私自身会員の先生方に何か少しでも役立つことを思っていましたら、何人かの学校医の先生から一人で1,000名以上検診していたら疲れる、何とかならないかとの要望があり、教育委員会との話し合いによって平成3年度より児童生徒数1,000名以上の学校歯科医を2人制にすることが出来ましたがこれも執行部の先生又、委員会の先生方の努力、協力で実施することが出来たことと思います。又私がいたらないもので委員会の先生に何かと御迷惑をかけたことをお詫び申し上げますとともに大変御疲れさまでした。

社保担当理事 本田 亘

診療報酬の伸びに憂慮



中根会長のもと2期6年にわたり社会保険を担当して参りました。その前も2期6年社保委員をしておりましたので、実に12年間の長い期間社保

だけを勉強して来ました。その間、診療報酬改正が数回ありましたが、毎回2%前後とまさしく雀の涙、公共料金、諸物価が値上げの度に10%以上あがっていることを考えますと現在の歯科界が如何に落ち込んでいるかが計り知れます。

加えて歯科医院の急増、患者数の激減、そして又バブルの崩壊等と歯科経営をとりまく環境は増々悪化しつつあります。昭和40年代のあのバラ色のすばらしい時代の再来はあり得ないのでしょうか。どうかしてくれと言うのが現在の会員の偽らざる気持ちではないでしょうか。せめて現在歯科界を覆っている黒雲が飛び去り、紺碧の青空が見られることを期待だけでもしたいと思います。

社会保険を担当して、その深さ、難しさを痛感し自分なりに努力して来ましたが、果たして会員の先生方のお役に少しでも立てたかどうか憂慮しています。

任期を終るに当たりこの6年間御指導、御鞭撻して頂きました会員の先生方に深く感謝申し上げますと共に、委員会のメンバーの御協力に対し厚くお礼申し上げます。ありがとうございました。

口腔衛生担当理事 矢毛 石豊

一斉歯科無料検診の開始、訪問診療の充実、発展



口腔衛生担当を仰せつかり早3年が過ぎましたが、その間各支部長先生、会員の皆様方の御協力、御支援のおかげをもちまして、口腔衛生思想の普及活動を行なう事ができ心から感謝申し上げます。

特に懸案でありました全会員による一斉歯科無料検診では全会員の賛同をいただき、実施する事が出来「一人でも多くの市民の歯科に対する意識の向上をはかる」と言う目的を達せたものと確信致しております。今後さらにこの活動が発展していきます様努力していきたいと思っております。

また、高齢化社会を迎える今日の状況の中で、

市歯科医師会で実施しております在宅寝たきり者の訪問診療は、関係諸団体では非常に高い評価をうけ、それにともない歯の健康への関心度も高まってきております。今後も医療専門団体及び市民に対し口腔内疾患の早期発見、早期治療の重要性をアピールし、地域に根ざした歯科保健推進事業を通じ、会員の役に立つ口腔衛生活動を進めていきたいと思っております。どうぞ皆様方の御助言・御協力をお願い申し上げます。

学術担当理事 伊 東 隆 利

3年間「咬合」というテーマを持って



中根執行部の学術担当者として、今期を振り返る時、会員諸先生のご期待に沿えたかどうか、危惧するところでありますが、添島正和委員長以下、

川崎俊明、永田省蔵、木村浩幸、奥村敏之、松永久、菊川明彦、有吉洋各委員の旺盛なボランティア精神と学術に対する熱意によって各企画を行なうことができました。

現在、3年がかりで作製中の「有病者歯科治療時の検査値の読み方、治療ガイド（仮称）」は、20数回にわたる委員勉強会の産物で、会員先生方のチェアサイドで必ずや役に立つものと最後の段階に入っています。3月中には、お届けできるものかと思います。

また、3年間「咬合」というメインテーマを持っていましたが、その集大成として、3月13日に問題のある「咬合」、無い「咬合」の鑑別（仮称）というテーマで、末次恒夫九州大学歯学部教授の特別講演、それに関連した診断機器のテーブルクリニックなどを企画して、まとめあげたいと考えています。どうぞ御参集下さい。

会員諸氏の3年間のご協力を感謝申し上げます。

第12回

九州八市歯科医師会 役員連絡協議会

日 時 平成5年10月15日(金) PM 4:00

場 所 「トキワ会館」大分市

上記協議会が今年度は九地連学会地大分市で行われた。



熊本市の歯科保健協議会を説明される関専務理事

各市歯科医師会提出協議題を1題にしぼり活発なる意見交換がなされ、特に今回は在宅寝たきり者歯科診療、医療廃棄物処理、医療事故における救急体制等が重に協議事項とされた。

本会からは乳幼児歯科保健、母子歯科保健、学校歯科保健、口腔衛生事業に於ける歯科保健、在宅寝たきり老人等歯科保健推進事業、長寿の里歯科保健推進事業、企業健診推進事業等課外事業の多い中、これらの事業を将来一本化して生涯歯科保健、医療、福祉の連携を確立するための地域に於ける歯科保健協議会が設置されていればその構成及び協議会内容、予算等について協議題として提出したのであるが福岡市以外はまだそこまでの体制は整っていない様であった。

第12回九州八市歯科医師会役員連絡協議会提出協議題

会 名	提 出 協 議 題
佐賀市 歯科医師会	なし
長崎市 歯科医師会	1. 在宅寝たきり老人等訪問口腔衛生指導事業の書会の対応・状況 1) 実施する予定 2) 実施しない 3) 既に実施している イ) 訪問指導料の金額 ロ) 衛生士の単独による指導かどうか 4) 在宅寝たきり老人等訪問歯科保健診療事業の有無
熊本市 歯科医師会	1. 地域歯科保健協議会が設置されていればその構成及び協議内容、予算等御教示下さい。
鹿児島市 歯科医師会	1. 政治連盟のあり方について、今後の対応をどのように考えておられるか 1) 国会議員、県議会議員、市町村会議員について
宮崎市郡 東諸県郡 歯科医師会	1. 報道関係との交流について（定例で懇談会等をもって交流され情報交換等をされているか） （追加提出協議題） 2. 医療事故における救急体制の有無
南部地区 歯科医師会 （沖縄）	1. 県衛代議員（郡衛選出）の選出方法について ☆（選出方法の規定条文がありましたら添付いただきたい。）
福岡市 歯科医師会	1. 在宅寝たきり者歯科診療について 1) 高齢者 2) 障害児（者） 3) 有病者
大分市 歯科医師会	1. 医療廃棄物処理の現状について



救急蘇生法 研修会



毎年行われ恒例となった、熊本市歯科医師会の学術、医療管理委員会主催による救急蘇生法研修会が、平成5年11月10日(水)と12日(金)の両日にわたり熊本県歯科医師会館3Fにて開催された。平日のしかも診療後の時間帯にもかかわらず数多くの先生、スタッフの方々の参加が得られた。

本年も、昨年から使用しているアメリカ医師会作製の様々な緊急事態における救急蘇生のABCをリアルに想定したビデオを用い供覧した。その後、伊東学術担当事務が、最近起こった実例等を上げられ、救急蘇生の必要性を説明された。さらに、研修会参加者全員による実習に移った。救急蘇生のABCを体験するために、人体ダミーを用い2人1組となり医院単位で練習を行った。まずエアウェイ(Airway)の確保を行うが、うまい体位がとれず気道が閉塞したり、鼻から息が漏れたりと始めからうまく行かない。次に人工呼吸(Breath)、そして心マッサージ(Circulation)を行う。まず最初に2回息を吹き込み、それから心臓マッサージを4回、5回目のタイミングの時に息を1回吹き込むリズムを1分間に約80回、行う方法を練習した。2人の連携の難しさ、息を吹き込む人は、頭がふらふらして息切れするなど、大変な思いをされたようだ。それでもしばらくすると、皆それぞれに形のとれた救急蘇生法を行えるようになった。

マネキン実習の一方では、血圧測定、静脈確保の練習を行った。さらに院内救急薬品の説明等のコーナーも設けられた。

救急蘇生法を実施する機会に遭遇しないに越したことはないが、いつ、なん時、自院で必要となる事があるかもしれない。日常生活の中でもその様な場面に出合うことがあるかもしれない。医院の全員がチームワークをとり、対処すると共に、スタッフも含めた私達医療人が、不測の事態にいつでもどこでも、すぐに行動に移せる様、身につけておかねばならない技術の一つであろう。

その様な意味から、年に1回のこの研修会への参加の価値はあると思われる。今年は更に多くの方々が参加されるのを期待する。

なお、今回の研修会に参加された方々の名簿は36ページに掲載しました。

(学術委員 松永 久)

第15回 ビデオ研修会

「今、手をつけられる院内感染予防」

1月18日(火)、厳しい寒さの中にもかかわらず、約80名の参加者を迎え、第15回ビデオ研修会が行われた。



感染からの自己防衛の意識を高めた研修会場

昨今、B、C型肝炎、AIDS等多くの問題が山積している中、歯科医の自己防衛策のみならず、スタッフ、患者さんに対する水平感染を予防することが重要な課題となっている。

伊東学術担当理事の挨拶の後、早速、東京慈恵会医科大学教授田辺晴康先生による「歯科診療における基本的な感染予防」(G C発行)のビデオを約20分間供覧した。

引き続き学術委員会副委員長の川寄俊輝先生により、スライドを用いた解説が行われた。講演の概要は以下の通りであった。

院内感染で注意すべき感染症

- ① ウィルス性肝炎 (B、C)
- ② AIDS
- ③ MRSA 感染症
- ④ ATL (成人T細胞白血病)

防止の考え方

- ① すべての使用機械・器具を滅菌する。
- ② 汚染がおこった物は滅菌する。

基本原則

- ① スタッフ全員でのチームワークが必要。
- ② 各レベルに応じての対応 (滅菌、消毒洗浄)
特に局麻剤カートリッジは1人の患者に使用

したら絶対に他の人に用いないこと。

さらに、各場面での注意事項で

① 治療前

手洗いの励行、グローブ、マスク、ゴーグルの着用。エプロン、器具の準備。

② 治療中

ラバーダムの使用、口内外のパキュームの使用。小器具、薬液のピン等に直接触れない。手指を傷つけない。

③ 治療後

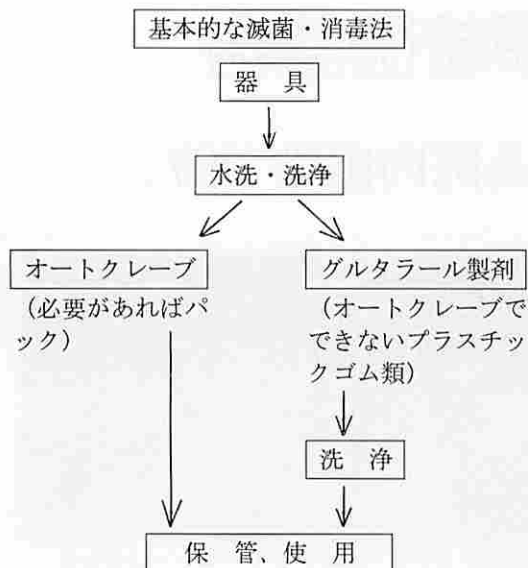
使用済の器具は消毒、滅菌へ回す。汚染物の適切な廃棄。タービンの空ぶかしを行う。ユニット、テーブル、スピットン、ライトハンドル印象物の清拭、消毒。

④ 休憩中

食前や用便の前後には手洗いをする。院内の食事は決められた所とする。外出時は必ず着替える。

⑤ 終業時

ユニット、キャビネット、パキュームホース、スピットンの消毒。廃棄物の処理。イソジン等でうがいをする。



最後に熊本県学術担当理事牧野先生より、県が行う院内感染予防の講習会について説明があり、閉会とした。



院内感染予防にもスタッフ全員のチームワークが必要と強調される川寄先生

(学術委員 松永 久)



〈ちょっとBREAK〉 パート I

スカートから生まれたコカコーラのビン

近代美術の巨星アンディ・ウォーホルの代表作のひとつに「210コカ・コーラ・ボトルス」というシルクスクリーンの作品があります。おびただしい数のコカコーラのビンはじつに壮観です。



コカコーラのビンは、世界中で最も有名なビンではないでしょうか。でも、あのキュートなビンは、最初からあんな形ではありませんでした。ビン詰コカコーラの第1号は、どこにでもある平凡なずん胴型でした。

ところが当時の経営陣は、暗闇でさわってもすぐにコカコーラだとわかる形にしたいと考えたのです。どこの世界でもスグレ者はいらるもので、

それならと新しいビンのデザインを考えたのが、アメリカのルートガラス社のアレキサンダー・サミュエルソンさん。1915年、当時女性の間で流行していたスカートにヒントを得て、現在のコカコーラのビンを生み出したのです。そのスカートはホップルスカートといい、ウエストをギュッと締め、ヒップラインを強調し、膝から下が細くなっているタイトスカートでした。コカコーラのビンに、グラマラスなアメリカン・ヌードを連想する人も多いようですが、当たらずとも遠からずかもしれません。

サミュエルソンさんは、コカ・コーラ社と1ダースにつき5セントで契約。おかげで日本円にして、何と18億円も手に入れたとか。

ところで、日本でのコカコーラの登場は大正初期ですが、一般的には昭和31年に売り出されました。昭和34年にはアメリカのビンがストライキで不足し、その輸出用に、日本で初めてコカコーラのビンが製造されました。

〈究極の大雑学〉より

委員会だより

学校歯科委員会

第43回

全国学校保健研究大会



平成5年11月11日、12日に第43回全国学校保健研究大会が大分市の大分文化会館で（生涯を通じて豊かな心をもち、たくましく生きる子供の育成—学校、家庭、地域の連携をとおして—）を主題に行われました。

11日の全体会では表彰式並びに「健康を考える」の演題で産業医科大学長小泉明講師の特別講演がありました。

翌12日は課題別研究協議会が行われ私達2人は第9課題（生涯を通じて歯や口の健康づくりを目指す学校歯科保健活動の進め方）に参加しました。

講 師 九州大学歯学部小児歯科教授

中 田 稔

指導助言 熊本県教育委員体育保健課主幹

大 森 勲

主旨

自ら進んで歯や口の健康づくりを実践し習慣化できる子どもを育てるための指導や組織活動の進め方及び健康相談の進め方について研究協

議する。

研究協議の内容

- 1 歯や口の健康相談及び保健指導の進め方について
- 2 学校歯科保健活動を活性化するための校内組織の在り方について
- 3 家庭や関係機関との連携について

提案者

新潟県寺泊町立大河津中学校教頭

宗村 影夫

福岡県豊前市立大村小学校養護教諭

南部いずみ

大分県湯布院町立湯平小学校学校歯科医

田代 教二

の3先生方の発表がありました。

提案者の学校はいずれも小規模校で大河津中学校は生徒数130名、大村小学校は49名でいずれも地域と密着した口腔指導がなされており小規模校ならではのマンツーマンの指導がいきなり熱心な学校、家庭、地域ぐるみの歯、口の健康づくりが行われ立派な成果が出ている発表がありました。その後質疑応答の中に学校給食献立会に歯科医師を入れられないか、学校保健活動に参加したいが、学校側から拒否されるのでしたらよいか、等々…今回はかなり多くの地域でフッ素の使用校がふえている様でした。

（学校歯科委員 斉藤 健、合沢康生）

第35回

熊本県学校保健研究協議大会

「健康的なライフスタイルの形成をめざす学校保健」

基本的生活習慣の確立を通して

第35回熊本県学校保健研究協議大会が、平成5年10月29日(金)、30日(土)の2日間水俣市文化会館を主会場として開催されました。

大会第1日目、開会式について行なわれた表彰式で、椿幸雄先生が学校歯科医として熊本県学校保健功労者の表彰を受けられました。

その後、東京女子医科大学小児科教授村田光範先生による『小児成人病とその予防』と題した特別公演がありました。

小児成人病とは、

「成人になったときの状態を考慮しながら小児期より治療や管理をしなければならない疾患」のことで我が国において特に重要なのは小児期の生活習慣が影響して成人になってから現われてくる症状だということでした。

次に、元熊本県教育委員会委員長、専妙寺住職でいらっしゃる渋谷幽哉先生による

「家庭における父、母、祖父母の役割」という講話がありました。

第2日目は班別研究会議でした。

勤労青少年ホームでは

「生涯健康をめざす歯科保健活動の進め方」

というテーマで発表が行われました。

高森町立高森小学校擁護教諭佐藤朗子先生は、前年度まで7年間勤務された白水小学校での歯科保健活動について発表されました。

津奈木町立幼、小、中学校、学校保健医でいらっしゃる鶴野一洋先生は学校歯科医としての立場から歯科保健教育について述べられました。

質疑応答の後、指導助言者として出席されていた県歯科医師会理事、富永英俊先生による食事、スポーツ傷害などについての話があり、大林裕明委員が県学校歯科委員会で作製された数百枚のスライドの一部を紹介されました。



(学校歯科委員 大園正人)

社保委員会

新入会員に対する社会保険指導講習会



平成5年11月26日(金)午後7時30分より
県歯会館3Fにおいて新入会員に対して
の社会保険指導講習会が開催された。

これは今回初めて行われたもので、平成2年より5年までに本会に入会された36名の先生方を対象に、適正な診療と正しい保険請求を行うことを指導目的として行われた。

まず中根俊吾熊本市歯科医師会会長より保険制度にのっとった診療をやっていく以上、まちがい、返戻、減点のない正しい保険請求が必要だということを理解していただき、この講習会を毎日の診療に役立ててほしいとの挨拶があった。

続いて本田社保担当理事より、厚生省指導、個別指導の内容と対策、人数、選定基準等の説明があり、正しいカルテ記載をすることにより指導等も少なくなるであろうと強調され具体的な説明へと移った。

まずカルテ記載上の注意点について、事務欄

(カルテ一面)、療法処置欄(カルテ二面)の順にくわしく診療報酬請求事務の説明があり、次にこゝ3年間の審査委員との申し合わせ事項について県社保委員会より通達があったものの説明や、レセプト上の再審査の対象となりやすい問題点等の指摘があった。

講習会終了後、活発な質疑応答がかわされ新入会員の社会保険に対する認識が大いに向上したと思われる。



正しいカルテ記載をすることがもっとも重要と強調される本田 理事

(社保委員 鬼塚友文)

口腔衛生委員会

幼稚園フッ素塗布

検診及びフッ素塗布の説明

平成5年12月7、8日に2回目のフッ素塗布が市立幼稚園で行なわれました。(一新、五福、楠、川尻、碩台、向山、古町)

フッ素塗布はイオン導入法によるものですが、それに先がけ衛生士学院の生徒さんから園児にブラッシングの方法、説明が行なわれ、子供たちもはりきってやっていました。

フッ素塗布は御父兄の希望を募って行なっておりますが、フッ素による歯質の強化は一般的常識となっており、十分理解を得て多数の希望者を集めています。

一方、口腔衛生委員による検診、さらに御父

兄方にフッ素塗布の説明と講演を行いました。講演では、

- ・むし歯予防及びフッ素による歯質強化のメカニズム
- ・ブラッシングの重要性と口腔清掃の定着化
- ・食生活の改善と生活習慣の改善について
- ・乳歯列から混合歯列期の変化と骨格の成長について
- ・その他

以上の項目について、30～40分程度の講演をしましたが、御父兄方から不正咬合と矯正治療について、外傷歯、清涼飲料水と食品について、

歯磨剤と歯ブラシについて等、数多くの質問が寄せられ口腔への関心の高い様子が伺えました。これで本年度の市立幼稚園フッ素塗布事業が無事終了することができました。

(口腔衛生委員 原田教二、笹原慎一郎)



〈ちょっと BREAK〉 パートII

ウルトラマンより早く地球にやってきた ヒーローたち

私たちの多くは本物の宇宙人に会ったことがありませんが、宇宙人という響きにほとんど違和感を覚えません。それはおそらくテレビのSFドラマなどでじつにさまざまな異星の住人と対面しているからでしょう。

ところで我が国のSFヒーロードラマといえば、昭和41年の「ウルトラマン」から始まると考えられがちですが、じつはそれより10年も早く、地球に来て悪と戦っていた正義の宇宙人たちがいたのです。

その1番手は「遊星王子」。正義の味方の元祖「月光仮面」を世に送り出した宣弘社の制作で、昭和33年11月から約1年間にわたって日本テレビ系で放映されていました。

「江戸時代に、木曽の山奥に不時着したUFOのなかで人工冬眠していた異星人が、木曽谷のダム建設工事の音で目覚め、靴磨きのおじさんに姿

を変えて侵略者たちと戦う……」といった奇抜な設定が災いしてか、あまり人気にならなかった作品ですが、登場する宇宙人やロボットの造形デザインは、当時としてはかなりスマートなものでした。

そしてその1年後には、アンドロメダ星雲からやって来た不死身のヒーロー「ナショナルキッド」が登場します。ナショナルというのはいうまでもなくあの松下電器のことで、この番組のスポンサーでした。そのネーミングのストレートさもさることながら、主人公が敵を倒すのに使う秘密兵器「ロルヤ光線銃」というのがナショナルの懐中電灯そっくりであったり、空を飛ぶシーンでも会社の広告ネオンが出てきたりと、露骨なまでにスポンサーが自己主張していましたが、番組は大ヒットし、懐中電灯と乾電池は飛ぶように売れたそうです。こちらはテレビ朝日系で放映されていました。

第5回 三 歯 会

5回目を数える三歯会が、10月26日（火）熊本市歯科医師会会議室で開かれた。



まず司会の奥田良樹広報委員よりこの会を充実発展していくことにより三つの団体（歯科医師・歯科衛生士・歯科技工士）の相互の理解を深め、多くの問題の改善、解決をはかりたいというあいさつで始まった。



上中会長・錦戸副会長

学術活動の充実と体制づくりに勉められる技工士会

技工士会の新しい会長に就任された上中会長から次のようなあいさつと要望があった。「高橋前会長から会長職を引き受けたばかりで、まだ自分の体制づくりができていない。しかしながら自分としては学術活動の充実をテーマにして職務を遂行していきたい。その中でも卒後教育に重点をおいているので、教育時の講師として歯科医師会の先生方をお願いした。また以前より問題となっている退職金制度の実行徹底については、啓蒙活動を広げているが、新卒者の就職時の雇用契約をきちんと確認するように指導している」



植常務理事・榊会長・本田副会長

“人材バンク”の設立で衛生士不足の解消をめざす衛生士会

衛生士会からは、第4回時の三歯会についての熊日の記事の取り上げられ方に不満があり、自分たちの職種としてのよい面も取り上げてもらいたかったという広報紙、広報活動のむずかしさを最初に口に出された。

「現在私たち歯科衛生士は2ヵ月に一回生涯研修制度にのっとり、講演会を開催して自己研鑽を行っている。厚生大臣免許を持っている私たちと助手との待遇面や給料面でもはっきりと区別をつけて欲しい」という要望がなされた。「なお現在進行中であるが、歯科衛生士を登録して再就職をあっせんする“人材バンク”が計画中であり、現在約100名の希望者がある」と報告された。



現在の会員への啓蒙活動及び学術講習への自由参加を呼びかけられる赤城理事

私たち歯科医師会を代表して、医療管理委員会の赤城理事より、現在までの私たち会員に対する啓蒙活動が報告された。平成4年度12月に退職金制度、平成5年1月に歯科医業実態調査結果を季刊誌に掲載して会員の啓蒙に努力している。その結果を見ても給料も他の業種に劣るものではなく、就業時間についても新規開業の先生には午後7時までの受付で、終わるように指導している。このように以前に比較しても、数段職場環境は改善されている。また学術講演会やビデオ講習会への技工士会への参加やスタッフ研修セミナーの歯科衛生士への自由な参加を求められた。最後に平成5年3月頃までに、新しい就業規則を発行する予定であるとつけ加えられた。

終わりに

今回の座談会の中で、衛生士会は“人材バンク”の設立、技工士会は学術活動の充実で二つの団体が内部充実をはかって、今問題になっている衛生士の絶対数の不足及び技工士間の能力差の是正に努力されていることを強く感じた。

この会も次回からは、その責が広報委員会より医療管理委員会に移管されることになるが、この会の潤滑油の働きはますます重要になってくことは明白である。そして私たち歯科医師が他の二つの団体に刺激を受けながら、内部教育の充実・学問的向上を目指していかなければならないことを再確認した。

出席者

衛生士会

会 長 榊加代子
副会長 本田志保子
常務理事 植由紀子

技工士会

会 長 上中隆文
副会長 錦戸徳則
" 佐藤光徳

市歯科医師会

- ・医療管理委員会より赤城理事他2名
- ・口腔衛生委員会より矢毛医師理事他2名
- ・広報委員会より寺脇理事他3名

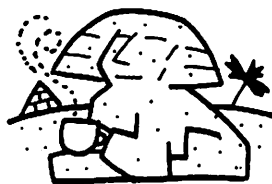
(広報委員 永野 忠)



〈ちょっと BREAK〉

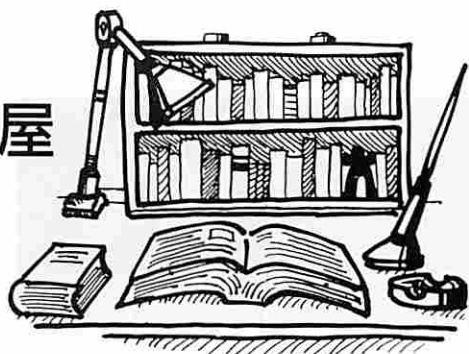
パートⅢ

コーヒーの飲み方の元祖は
トルコ・コーヒー



最近、日本では世界各国のコーヒーが飲めるようになったが、トルコ・コーヒーというのには、なかなかお目にかからない。これはトルコを始めギリシアやエジプトで飲まれているもので、コーヒーの粉を漉さずに、ドロドロで苦い汁の上澄みをすすするようにして飲むのだ。ヨーロッパに伝わる前は、みんな、こうしてコーヒーを飲んでいた。

勉強部屋



多数歯欠損症例への対応

学術委員 添 島 正 和

はじめに

日常臨床で多数歯欠損症例の患者が不満を抱く理由の一つに自費治療をおこなったにもかかわらず、結果がおもわしくなく長期間の調整を余儀なくされていることがあげられる。その結果、患者は機能回復をあきらめ診療を中止もしくは転医することがある。

一度自費治療を行い期待した結果が得られなければ、当然のことがら患者は二度と自費治療

は希望しなくなるのが普通である。

こういったケースの患者が来院した時、我々歯科医師は傷ついている患者の心を癒しながら、心理的な側面を考慮した多数歯欠損症例への対応を心がける必要がある。

今回、心理的なアプローチに重点をおいて、再度自費診療にトライした多数歯欠損の症例を提示して予後を良好に推移させるための因子を考察してみたい。

症 例

患 者：74歳 女性

初 診：1993年1月14日

主 訴：咀嚼不全

症例の概要

1992年3月に他院で上顎は543 | 234を支台としたコーヌスデンチャー、下顎は総義歯を装着したが、装着時より①下顎顎堤粘膜の疼痛 ②発音障害（シ・ノ音が出にくい） ③上顎コーヌスデンチャーの異和感（1.義歯によってしめつけられる感じがする 2.舌が上顎前歯部につかえる 3.口の中が狭い感じがする）を訴え、1992年11月まで約8ヶ月間義歯の調整を行ったが改善されず紹介され来院

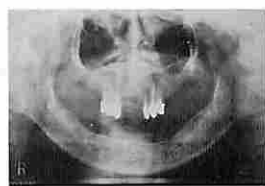


図1 初診時のパノラマX線



図2 初診時の口腔内写真



図3 初診時の咬合面観(上顎)

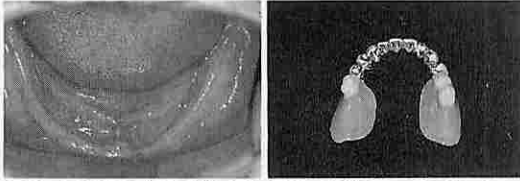


図4 初診時の咬合面観(下顎) 図5 術前のコーヌスデンチャー
(6|6までの拝列になっており3の外冠は穿孔していた)

治療方針及び処置

歯科治療に対して極度の不信感を患者が抱いていたので、まず下顎顎堤粘膜の疼痛除去を最優先に考え、旧義歯内面の不適合・不均等な咬合接触および不適切な義歯研磨面の改善を即日に行い、患者に旧義歯の問題点の分析結果を根気よく説明し、ラポールの確立につとめた。

新義歯の顎位は中心位で採得し、垂直咬合高径は旧義歯よりも2mm挙上した。さらに上顎人工前歯は旧義歯よりも1mm唇側に、下顎人工前歯は舌側に拝列し、上顎人工前歯の長径をごくわずかに大きなサイズのを選択した。上顎前歯切端の位置を旧義歯より1.5mmほど下方に拝列し垂直被蓋を付与し、発音障害の改善につとめた。

上顎コーヌスデンチャーは第2大臼歯まで人工歯を排列し、咬合の安定と咀嚼能率の改善をはかった。咬合様式は両側性のバランスドオクルージョンを付与した。上顎コーヌスの内冠は患者の希望もありそのまま使用し、個人Trayを用いたシリコン印象で通法通りコーヌスデンチャーを完成させた。上顎義歯のアーチフォームは意識的に唇側に拡大し、舌房のスペースを充分確保した。

治療経過

結果的に1993年の初診から1993年5月18日の治療終了時まで27回の来院を要したがその理由として

- ① 患者の歯科に対する不信感が根強く、少々ノイローゼ気味で容易に信頼関係の確立が出来なかった。
- ② 下顎顎堤粘膜は付着粘膜が少なく、可動性

であり、薄くて傷つきやすい。

が考えられた。

初診時の咬合力は右5kg・左4kgであったが新義歯装着後は右9kg・左10kgに向上し、山本式咬度表の比較からも咀嚼機能の回復が著名である。

新義歯に対する患者の感想は以下の通りであった。

- ① シ音・ノ音の発音が出るようになり、舌のつかえる感じがなくなった。
- ② 玉ねぎ・わかめは旧義歯では食べることが出来なかったことが新義歯では食べられるので少しずつ食べる楽しみができてきた。
- ③ 現在、義歯装着後8ヶ月経過しているが、咀嚼・発音とも充分満足しており、義歯を再生して良かった。



図6 術前の下顎の総義歯



図7 患者は疼痛のために以前に製作していた咬合のあわない義歯を使用していた。



図8 第1回目の旧義歯調整後の義歯内面



図9 第2回目の旧義歯調整後の義歯内面(均等な当たりになってきた)

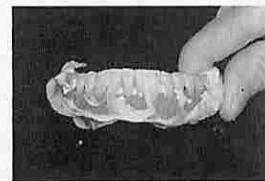


図10 旧義歯の研磨面(下顎前歯部唇側)のフィットチェックによる診査



図11 上顎新義歯の咬合面観
(7/7まで排列を行った)



図12 下顎新義歯の咬合面観

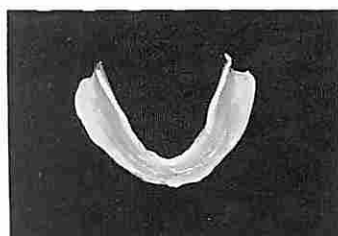


図13 下顎新義歯の内面の適合状態
(均等にフィットチェッカー
が抜けている)



図14 新義歯装着時の口腔内写真



図15 //



図16 //



図17 下顎新義歯の咬合接触状態



図18 //

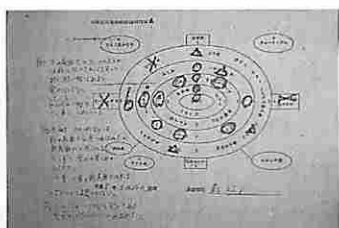


図19 旧義歯の山本式咬度表

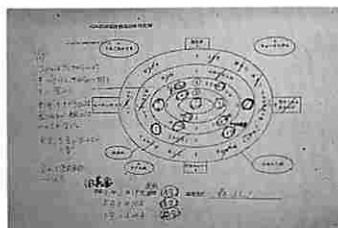


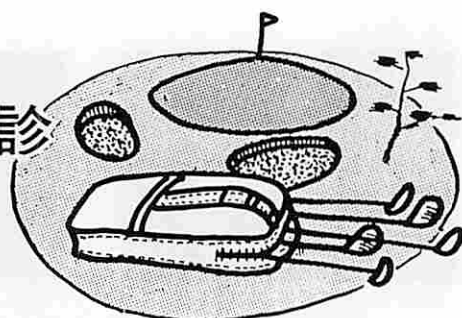
図20 新義歯の山本式咬度表

おわりに

一般臨床で遭遇するいわゆる「不良義歯」と呼ばれるものには種々の原因が考えられる。我々歯科医師は、患者の訴えを真摯に受け止め謙虚に反省し、その原因を科学的に追及し対応しなければ決して患者の信頼を獲得することは出来ないであろう。

21世紀を間近に控え、不況感が強い現代社会の中で、日々の研鑽と患者との信頼関係確立が将来、我々開業医が生き残れる道ではないだろうか。

本日休診



バラ打ちトリオと呼ばれた ゴルフ人生と私の健康

合 澤 康 生



平成4年9月15日、
阿蘇ゴルフ倶楽部の雑誌『遊』に「ゴルフと私」という題で掲載されたものを一部引用し

たものを書かせていただきます。

ゴルフをする前は

「あんた、ボールが穴に入ると本当に嬉しそうな顔をするなあ」阿蘇ゴルフ倶楽部アウト3番池越えショートホールで言われた先輩の本田治夫先生の言葉を思い出す。あれだけ嫌っていたゴルフなのに、アウト7番のショートホールの夢をみて、「のった、のった」と寝言まで言わせるようになったのは一体何であろうか。

昭和40年頃、大学時代に一度だけ学校の近くのゴルフ練習場に連れて行ってもらったことがある。その時、支配人の言ったことは、「ゴルフは面白い。一度始めたら止められない。絶対とりこになるよ」黙って聞いていたが、「ただボールを打って穴に入れるだけで何が面白いものか、ヒマ人で金持ちのする事だ」と、当時思った記憶がある。そんな風だったので、大学卒業後も歯科医院を開業してからも、昭和58年頃まで全くゴルフとは縁がなかった。

私はもともと体が強い方ではなかった。以前、

歯科医師会での委員会の集まりの夜、異様に疲れて家に帰ると、夜中より突然ジンマシンに悩まされ、顔はライオン丸みたいに赤く腫れ、まるで別人となり、体中に広汎性の湿疹が出来た。その時は、同業者の寺脇先生から友人の皮膚科に連れて行ってもらったり、同級生の寺島先生から友人の内科に連れて行ってもらったり、約一週間程寝込んでしまった。

3年間程は西部のガンマンみたいにゴルフの球を打ちまくる

その後、寺脇先生からの勧めで何か運動した方が良く、という事でゴルフを始めることになった。丁度、今度の日曜日に阿蘇ゴルフ倶楽部で「赤水デンタルゴルフ会」というのがあるから一緒に行きましょう、と言う事であった。すぐに1セット2万円のゴルフ道具を買い、その週の土曜日に寺脇先生から練習という事で、トーナメントカントリー倶楽部の薄暮に連れて行ってもらった。その時のアウト7番136ヤード、高麗グリーンを5番アイアンで打ってワンオンしたのを懐かしく思い出されます。いよいよ次の日、阿蘇ゴルフ倶楽部での「赤水デンタルゴルフ会」に入れてもらい、私のゴルフ人生が始まりました。昭和58年、私が37才の時でした。胸はドキドキ、何しろ1週間前にクラブを買っ

たばかりです。アウト1番、いきなりボールが真横に飛んでティグラウンドの草むらの中。散々だった思い出があります。おかげでアウトの1番は今でも苦手のホールとなっていました。その後HD30をもらい、3年間程は、寺脇先生、寺島先生と私の3人で、バラ打ちトリオと呼ばれ、西部のガンマンみたいに打ちまくったものでした。

高血圧で偏頭痛で悩まされる

40才過ぎた頃から、持病の高血圧が悪化し始めました。毎日の様に偏頭痛に悩まされました。一晩中頭が痛くて眠られず、明け方になると、ムカムカし、気分が悪くなった事もありました。天気が悪いと頭痛がし、疲れると頭痛がし、空腹になると頭痛、寝不足で頭痛、兎角常も頭痛薬をはずせない状態になりました。血圧も家で計ると、上が200を越え下も120ぐらいになってしまいました。友人間でも頭痛の合ちゃんになってしまいました。母を52才でクモ膜下出血でなくしてしまいましたので、家系的なものかも知れません。高血圧の方は今でも薬を飲んでいますが、少し落ちついている様です。

ゴルフの厳しさと面白さがわかってきたいま

ゴルフは、昭和63年にHD26、24、23となり、そろそろゴルフの面白さがわかってきた様な気がします。平成2年にHD22、21、20となり、いよいよゴルフの厳しさの入り口に來た様な気がします。平成3年にHD18、平成4年HD17、14となり現在はHD14です。あくまで健康の為に始めたゴルフですが、せっかくやるからには、何か目標を決めてやろうと思っています。幸に、歯科医師会の同じ委員会にHD4と言う先輩がいますが、今はもうおじいちゃんになってあまりやってはいませんが、何かと教えてもらって、いつも相談にのってもらっています。

ゴルフのおかげで健康も好転

おかげで9年間、例の皮膚病も出ず、高血圧

と偏頭痛も好転し、従業員の方からも、「年に1、2回、風邪で休診することがなくなりましたネ」と言われ、随分健康になった様な気がします。ゴルフをしていなければ間違いなく高血圧で死んでいただろうと確信しています。私にとってゴルフは命の恩人。ひたすらクラブをかついで野や山を走り回り、時には水につかりながら、健康の為と言いつつ、100を打たない様にと思っている今日このごろです。



(肥後狂句)

- 見たこつか おるより先に食うけんた
(佐野 昭二)
- 見たこつか 株に色気ば出しおって
(斉藤 健)
- 見たこつか あぎゃん出るなて言うたろが
(松村 清徳)
- 見たこつか 落選すったアしれとった
(松村 清徳)
- 見たこつか あまりも年のはなれ過ぎ
(松尾千鶴子)
- 見たこつか 飲み過ぎたらいつもこれ
(松尾千鶴子)
- 見たこつか ごまするけんでけまつるる
(渡辺 洋子)
- 見たこつか 鮫のおるてち言うたろう
(豊田 大徳)
- 見たこつか ベテランだって見合わる
(豊田 大徳)
- 見たこつか つよかふりしてコップ酒
(寺岡 信行)

ひ

と

り

ご

と



細川首相の侵略発言について 第2次大戦時の日本の立場を洗い直す

徳 永 俊 英

細川首相が宣言した日本の侵略戦争については、賛否両論入り乱れてマスコミをにぎあわせたが、現在は熱っぽく冷めやすい国民性のせいかな、議論される事もなくなった。私はこの発言を聞いて一つの疑問を持った。首相はどれも侵略という事を、中国や東南アジアでの戦闘や、現地の人々への兵隊の残酷な行為にのみ目を奪われてあの様な発言をされたのではないかという事である。実際、日本が死力を尽くして戦った相手は米国であり、米国によって降伏させられたのであるから太平洋戦争の全てが、侵略には当たらないのではないかと考えていた矢先に、ある雑誌に外交評論家の伊藤憲一氏が以下の様な事を述べていた。日本が引き起こした戦争は、対中国、対ソ連、対東南アジア、対米国と四つの側面があったのだが、その内「侵略」とははっきり言えるのは対中国だけである。中略、対ソ連の戦争に至っては、ソ連側が中立条約を無視して攻めて来たもので、日本は侵略された側である。対東南アジアの戦争はややこしく、形の上では、日本の相手は米英仏蘭などの欧米列強だったが、彼等を駆逐した後では植民地にしてしまい実態は、侵略になったが結果として東南アジア諸国、ひいては他のアフリカ諸国が独立するきっかけを作った大きな歴史的意義があるのも紛れもない事実であって、それを全て「侵

略戦争でした」と言われたのでは、あまりに不正確である。以上であるが日本軍によって英国の植民地だったシンガポールが陥落した時、英国の首相チャーチルは、「二度と大英帝国は、アジアの地にもどれないであろう」と言ったそうである。これは何を意味するかと言うと、インドやシンガポールの人々が、自分達と同じ黄色の顔をした小さな日本兵が、大きな白人を捕虜として銃剣を突きつけて、ぞろぞろと多数連行して行くのを見て、何だ白人も負けるのか、自分達と同じ人間なのかと感じ白人絶対優位の概念が音をたててくずれ、後の独立運動に変化していった訳だが、それをチャーチルは、鋭く見抜いていたのである。ポルトガルやスペインの大航海時代に始まった世界の植民地化の中で、時代は変わっても、ヨーロッパ列強の帝国主義は、世界を席捲した。為に、被植民地の人々は、白人絶対優位の概念を植えつけられた。それは、世界史を学んだ後世の我々が想像もできない様な強固なものだったと思う。恐らく当時の被植民地の人々は、東洋の片隅の小さな日本が、先ず明治に入ってロシア帝国と戦い、次に米国と飛行機や軍艦で、初戦は五分以上に戦った事に、大変な驚きと感動を持ったに違いない。そして、それが後のアジア・アフリカの独立運動の大きな流れになって行くのである。では米国との戦

いはどうであったか。これは私見だが、ルーズベルトは、ニューディール政策でありあまり効果がなく、失業者があふれ、この不況を何とかしたいがどうにもならない状態にあった。米国は物を作っても、列強国のブロック経済化で世界が分断され、それを売る国がなかったのである。アフリカや東南アジアは列強国がおさえていて、衣類や機械などが売れない。そこで中国に目を向けたのだが、どうにも日本がじゃまになる。それで日本の中国進出に侵略のレッテルをはり、中国本土から全て手を引け、引かないなら、石油禁輸をやるといって、A B C D包囲網で、締めつけてきて、最後にハルノートを突きつけたのである。ルーズベルトは、もし要求を飲まない場合、戦争で決着をつけると言った訳だ。内心戦争になってもかまわないと思っていた。何故なら戦争特需で失業者が工場で働く場を得、又男は兵隊となって戦場へ行くのだから失業者対策の一番の早道になるからである。これによって米国民の不満は解消され日本の方へ関心が向けられ、自分の大統領の地位も安泰になる。だからルーズベルトにとって、日本は中国から手を引いても、中国での權益を守る為に米国に戦争をしかけてきてもどちらでもよかったのだ。そして激戦の後、米国は原爆で日本の息の根を止めた。米国政府高官や将軍の中には、何も原爆を使用しなくてもB29で爆撃を続けたら、日本は手を上げるだろうという意見もあったが、米国首脳は第2次大戦後の世界の構図にすでに関心が移っていた。すなわちスターリンのロシアとの戦いである。第2次大戦後はロシアとの確執になると考えた米国首脳は、原爆を日本に落とす事によってロシアを戦慄せしめ、無言の威圧感を感じさせたかったのである。原爆は日本を降伏させ又、戦後のロシアの戦勝要求を小さくおさえこむ為の絶好の玉として使用されたのである。戦後この米国の圧力をはねつける為

に、ロシアは必死になって原爆を造り続けたのは、周知の通りである。恐らく細川首相は、約半世紀前の東京裁判史観にとらわれ、そこから抜け出せず、あの様な侵略発言になったのであろう。そして多くの日本人は、細川首相の様に、今もって東京裁判史観から抜け出せずにいる。だから周囲の国から、過去の戦争の事を言われると、ひたすら頭を下げるのである。もうそろそろこの機会に、日本人による第2次大戦での日本の立場や、世界史の中で、先の大戦に於いて、日本がどういう役まわりをやったかを、冷静に洗い直す作業をやらねばならない時期にあると思う。ここで是非、紹介したい文がある。それは上智大学教授、渡部昇一先生が、月刊「到知」11月号に掲載されたものであるが、その中から紹介します。昭和20年8月30日、コーンパインプをくわえて厚木飛行場に飛来した時のマッカーサー元帥の日本に対する認識は、隣国に勝手に攻め込んだろくでなしの犯罪国家、というものであった。これが東京裁判史観である。中略、もっともマッカーサーは、リアリズムを旨とする軍人である。事実を知る事によって東京裁判史観が誤解である事に気づき、これを修正した。マッカーサーに誤解である事を気づかせたのは、昭和25年に勃発した朝鮮戦争である。中略、この戦闘を通じてマッカーサーが痛感したのは、朝鮮半島の北にある強大な勢力の日本に対する脅威だった。この勢力が朝鮮半島に入ってきた時、日本がノホホンとしている訳にはいかない事が、身にしみてわかったのである。中略、米軍は鴨緑江の国境線を守り切ることができず、共産軍に押されて南下し、ようやく北緯38度線で戦線を固定して、そこから北は共産軍に渡して休戦協定を結ばざるを得なかったのである。こうしてコリアは北と南に分断される事になったのだった。この経緯の中で、マッカーサーは、日本の明治以来の歴史が本当に理解

できたのである。中略、そのことは、GHQの最高司令官を解任されて帰国後、上院でマッカーサーが行なった演説に如実にうかがうことができる。その演説の中でマッカーサーは、「日本の戦争は侵略戦争というより自衛の戦いであった」と語り、「自分が戦ってみてよくわかった。ソ連の脅威がなければ、満洲事変は起こらなかった」と悟ったのである。またマッカーサーは、「東京裁判は、やるべきではなかった。あれは

誤りだった」とも言っている。以上、ごく一部を抜粋して紹介しました。

歴史の流れは一刻も休まず、とうとうと過去から未来へ向かって流れていく。100年後に、第2次大戦に於ける日本の立場、役割がどう歴史家から評価されているか大いに興味があるが、その時、私はこの世に存在しない。大変残念である。

歴史に学ぶ

下山純生



（敵を知らず、己を知らず）

「何と馬鹿げたことだろう……。」思わずつぶやいていました。

NHK特集「太平洋戦争

・ガダルカナルの戦い」を見た時です。緒戦において、圧倒的な米軍の銃弾の十字砲火の前に自殺行為にも等しい白兵攻撃を行い、壊滅的な打撃を受けた。しかし、明治時代からの伝統的戦術になんの反省もないまま、その後2度も同じ過ちを繰り返したという、以後の敗戦を予見させる戦いです。当時日本最高の頭脳集団の軍上層部が、物資を精神力で補おうとするあまり、過度の精神主義に陥り、また自己過信のため傲慢になり、敵を過小評価し、現場からの情報を軽視して、意見のあわないものは排除してしまった。そして、自ら責めを負わず責任を第一線の指揮官におしつけて、大義の名の下に人命を消耗品としか考えなかった。軍上層部のそのエゴイズムに暗澹たる気持ちになりました。

「敵を知り、己を知らば百戦危うからず」を

もじった「敵を知らず、己を知らず」というレポーターの言葉が印象的でした。謙虚に様々な意見をよく聞き、失敗に学んで、周囲の状況を的確に判断することが、トップの立場にいる者にとっていかに重要かを痛感しました。

（自分の病院内をかえりみて）

かえりみて、自分の医院内でも、批判が耳に入りにくい井の中の蛙になりがちな環境のため、気づかない内に同じような過ちを犯していないか考えさせられました。信念をもって診療にあたることは必要だが、患者に対してそれが一方的な押し付けになっていないか。うまくいかないことを、患者や従業員のせいにしていないか。従業員を消耗品扱いせずによく育てているのだろうか。慣れの中でそういったことに心を及ぼせることが少なくなっているのではと思った次第です。情報の洪水の中で、時代、環境が激しく変化する中、「敵を知らず、己を知らず」にならないように現在本当に妥当な考え方なのか常に注意を払わなければならないでしょう。

（家庭内では）

家庭内でも、子供について自分の考えを押し付

けがちで、自分の育った環境とは違う時代にいる我が子に、過去の正義を振りかざそうとする自分に気づくときがあります。歯を動かすにしても、強すぎる力がかえってダメージを与えるばかりであること、恐がる患者へは柔らかな刺激での脱感作法など、全ての場合に柔らかな対応が望ましいように思えます。

（社会の中では）

一方、社会の中では、統帥権の独立のため軍の暴走を許したという教訓から、色々なレベルでのチェック機構と情報の公開が重要だと思われます。情報の公開は遅々として進んでいませんが、自分に都合の悪い情報も敢えて出す事も大切ではないでしょうか。極めて難しい事ながら、「一犬影に吠ゆれば百犬声に吠ゆ」となりがちな時代の流れの中でも冷静に正しく判断でき

る眼を持てるようにならなければならないと思います。

（男女、夫婦間を考えると）

ところで、私は月に2回市民センターの大極拳教室に参加しています。夜7時からという時間にもかかわらず、ほとんどは女性であり、老若、実に生き生きと楽しんでいます。他所においても女性の元気な姿が眼につき、アッシー君、専業主夫、男性の育児休暇、夫婦別姓など男女関係も大きく変化しようとしています。百年後は主導権を女性が握り、家庭制度が崩壊して男性の通い婚が増える、というかんばしくない予想もあるようです。男性にはもっとしっかりして欲しいものですが、お互いに相手の立場を尊重した対等なパートナーシップが望ましいのではないのでしょうか。



At. random

才 田 雅 英

〈グリーン・ストックの運動〉

最近、三つの会に出席して、その中より報告します。「グリーン・ストック運動」についての記念講演より、山口力男氏（阿蘇百姓村村長—農民）と佐藤誠氏（熊本大学教授）にそれぞれのテーマで話された。山口氏は農業に関する議論が盛んに行われているが、百回の議論を重ねるより一本の苗を植えていただきたい、この思いをこめて百姓村を作ったこと、米の自由化にしても、農民も感情的にならずに理論的に発言、提言を行うことが重要であり、その運動の展開には戦術、戦果があるべきで、大義が必要であると訴えられました。佐藤氏は、都市、住宅問題の専門家として、バブル経済時代の東京の地

価高騰の背景とその後の東京バブル資本の流れ先としてリゾート開発と農地法との関連について話された。今年6月「特定農山村地域整備促進に関する法律」が法制化され9月28日より施行された。これは、全国で、1700市町村を指定し、農地を宅地にしてもよいし、ゴルフ場にしてもよいという事であり農地法の縛りや都市計画法の調整区域の縛りがなくなったということで、戦後最大の農地の自由化法である。重大なのは十分に審議されずまたマスコミにもまったく報道されずに通過、成立したことである。

〈シンポジウム「エイズから日本を守ろう」〉

山口剛氏（都立駒込病院感染症科部長）は医師の立場より報告されました。我が国における異

性間性的接触による HIV 患者・感染者の急増に伴い発病して初めてエイズであることが分ったり、妊娠して分ったケースもあり、エイズは身近な問題になってきた。このような中で、救急患者がエイズ患者であったケースも発生しており、医療機関にとってエイズに対する正しい知識をもって HIV 感染者の受入れ体制の整備をすることが急務になってきた。その際、プライバシーの保護や差別への配慮と同様に検討しなければならない問題として医療従事者への感染防止がある。また「エイズは治せないが予防はできる」という自然科学的な面と、社会科学的な問題として人権の問題、感染者が20代から30代での家庭の中心になっていることからくる家庭崩壊、経済的な問題、東南アジアからくる女性との交際、外国文化との違い等、社会問題を含めて考えていくことがエイズ対策に大切である。小宮善昭氏（都立駒込病院口腔外科医長）は歯科医師の立場から一感染後から発病まで平均潜伏期間は約10年と推定される。エイズ患者となると2年以内に殆ど死亡するので恐れられている。そこで、この長い無症状性キャリアーの時期の患者は日常生活上で歯科の診療を受ける機会が多いと思われる。それで、口腔内は真菌による口腔カンジダ症が発症することが知られている。その他に、ウイルス感染症である口腔毛状白板症や口腔カポジ肉腫がエイズの経道中にあらわれると言われています。

歯科医療は観血的処理の多い部門であり、感染症は血液と血液の混じった唾液である。感染経路は歯牙削去時に生ずる血液の混じった削去片やエアースゾルの暴露による経皮、径粘膜汚染や拔牙や針刺し事故、歯牙切削器具による着脱時の経皮的自損事故の感染の危険を認めねばならない。そして、HIV 感染症の特徴的な症状、診断基準、経過を知り、感染が疑われた抗体検査が出来ない場合、又、ハイリスクグループで

も問診に正しく答えてくれないならば、このような患者を HIV（+）として取り扱っていかねなければならないだろう。

池上千寿子氏（HIV と人権、情報センター東京支部代表）は患者の人権を守る立場より話された。パディとは、相棒とか仲間の意味ですがクライアント（患者、感染者）と対等の立場で心身のサポートやサービスを行う人を指します。このパディ・プログラムは感染者の会と共に、社会から見捨てられかねない、その不安をいなく感染者、患者にとって、もっとも力強い心的サポートを提供するものです。

最後に新村和哉氏（厚生省保健医療局エイズ結核感染症課課長補佐）が行政の立場より話されました。平成3年から平成4年にかけて、HIV 感染者の急増と全国的な拡大が見られ、感染経路は異性間性行為であったこと、在日外国人感染者の急増が特徴であった。平成5年に入ってから、外国人女性のその報告数の増加には鈍化が見られる、それに対して日本人男性の患者、感染者の増加が著しく、国内での感染の割合が増加している等、新たな感染の広がり模様を見せ始めている。政府のエイズ対策は「エイズ問題総合対策大綱」に基づき、正しい知識の啓発普及、検査、医療体制の充実等考慮して101億3千万円の予算を計上している所です。また、エイズ患者等が安心して医療を受けられる体制を確保すること急務であることから「エイズ治療の拠点病院のあり方に関する検討会」の報告を受け、各都道府県に2ヶ所以上のエイズ診療の拠点病院を整備するよう通知し、これを促していると報告されました。

〈中国の政治と軍事〉

核兵器廃絶熊本県医師の会一定期総会の記念講演「中国の政治と軍事」足立啓二氏（熊本大学教授）より初めに、「中国社会主義」を作った核超大国のあゆみを1049・10・1 中華人民共和

国が成立した時点より年、時を経て歴史的に解説されていった。次に「歴史からみた核と平和のための問題を取り上げられました。この中で、核をめぐって緊張は緩和」したか？又、中国は何故「核と人民戦争」を決断したのかと云えば、核開発は安価な兵器として作れるからである。それで1956年に核開発を決断したのである。これは、当時の日本の自衛隊装備の1年間の調達費用隊員数20万人で3億6千万ドルであった。それでは中国は如何であったかといえ、中国軍は250万人を抱え、国支支出の36.3%に当る45億ドルの支出費である。この時、原水爆開発費は推計であるが10〜20億ドルかかるのであった。それで、一期に中国は核開発へと進んだことと、

中国における民主化が進まなかったわけを話していただいた。これは中国社会自身の意志能力の低さであって、社会の基層における自治的団体の欠如であって、それは、権力者からみれば国民を操作し易い状態であった事などのべられた。

〈むすび〉

以上より、私達歯科医師が生涯学習をやっていく場合、歯科医学、歯科医療、一般の医学は勿論であるが科学、工学、経済学、哲学、文学と広範囲に知識を取得して実践出来るものはやっていき、そして、明日への生活の糧にしているのが当然でありましょう。



〈ちょっと BREAK〉 パートIV

「タバコを吸うとやせる」はうそ

嫌煙権運動が盛んになるにつれ、公共の場から喫煙所がづぎつぎと消えていくこのごろ。愛煙家の肩身は狭くなるいっぽうで、タバコ^{たばこ}駈逐^{きそく}を喫く声が聞こえてきそうです。

さらに、愛煙家がますます萎縮するような調査が浜松医大で行われました。35歳から49歳までの健康な男性2146人を対象に、1日の喫煙本数と皮下脂肪の厚みの関係を調査したところ、31本以上吸う人の皮下脂肪はタバコを吸わない人よりも厚いという結果が出たのです。原因は、タバコの本

数が増えると成長ホルモンが活発になり、脂肪の代謝がよくなるからではないかということ。これは今まで信じられていた「タバコを吸うとやせる」という考え方のまったく逆なのです。

男性の喫煙率が下がっていくなか、女性スモーカーは年々増加しています。きれいな箱入タバコも次々に発売され、今やタバコはひとつのファッションともとらえられているようです。しかし、やはりタバコは美容の大敵。「タバコをやめると太るわ」といってなかなか喫煙をやめない女性スモーカーの皆さん、あなたは大きな間違いをおかしているのかもしれないよ。

一枚



池上富雄先生

熊本市花畑町4-1
太陽生命第2ビル5階
池上矯正歯科クリニ
ック

この写真はボスト
ン留学時代（1981～
1983）にボストンの

ウォーターフロントにある有名なシーフードレストラン“Pier4”（Pierは埠頭の意）にて留学時代の恩師である Dr. Kim とロブスターを食べているところ（皿の上のサイズで約\$20）ですが、私の留学生活は、全てを貯金でまかなった私費留学であり、贅沢は決して許されませんでした。どちらかと言うと苦勞の多い、厳しい留学生活でしたが、その様な苦しい生活の中でも、たまにはホッと一息つける、楽しい思い出となるような事もありました。これは、その様な稀な思い出の1シーンです。今から思うと経済的にはままならない時期でしたが、明確な目標とそれに向かう燃える様な意欲を持ち、毎日新しい事を身につけて、自分に貯金しているという、人生でもっとも充実した時期だったように思われます。



熊本市で最初の矯正専門医院として開業して、来年で10年を迎えようとしています。開業した年（1984年）の夏、一日一人の患者もなく、受付一人を置いて近くの城内プールに泳ぎに行っ

の 写 真

たような事もありましたが、その後日本に於ける矯正歯科の普及率の向上と、多くの先生、友人、患者さん、スタッフ、家族のお陰で無事ここまで来れた事に心から感謝したいと思います。これから、自分の未熟さを自覚し、全ての事に感謝しつつ、日々を過したいと思う今日この頃です。

最近は時間の経つのが、とても早く感じられます。開業してからの9年間は、それ迄の時間の流れより数倍早くなった様な気がします。そして、忙しさの中で何か大切なものを置き忘れていた様な気がしてなりません—だんだん齡をとっているのでしょうか？



千場敏昭先生

熊本市若葉2丁目
14番5号

昭和61年、新樹会
創立10周年の記念式
典の時の写真です。

私にとってこの1
年間は新樹会と共に

過ぎた日々でした。細川知事も来ていただき、国会議員は写真のお二人だけでした。その後細川知事の後任でこのお二人が話題の中心になろうとは…

いろんな意味で思い出深い写真です。早いものでこの写真の時から7年が過ぎてしまいました。

日々、雨にも負けず、風にも負けず診療と会務と遊びを分きざみでこなしています。

最近読んだ本の文章を借りて近頃、感じる事にかえさせて頂きます。

40代の半ばにたどりついて思うことは、人生はいつも前向きでなければならないということ

だ。うしろを気にしては、前へ進む気持ちも萎えてしまう。



人には、だれでも哀しいことや悔しいこと、けっして言いたくないことがあるものだ。そんなものをたくさん背負っているのだから、幸せな気持ちで生きていくには、なるべくうしろを見ないで歩くほかはない。きみたちの歩いていく先は、そんなに長くはない。むしろ短すぎるぐらいだ。わたしたちは、だれでもやがては去っていかなければならない。

だから幸せは、生きているうちに味わっておくべきだ。



中西一夫先生

熊本市菅原町11-1
昭和52年、高校の時同じクラスだった、添島正和君の紹介で、三水会に入会し毎月霞ヶ関の納富先生のコースを受講した時

の夕食会の写真です。その後、保母先生や森先生等々のコースを受けまくり、サーティフィケートを集めるのが趣味みたいな時代でした。

現在はその熱もすっかりさめてしまい、若手の奥村、永田、栃原先生達に、頭を下げて習っています。



妻	富江	44才
長女	道子	16才 高校生
次女	素子	13才 中学生
犬	コロ	6才 メス
猫	ミー	2才 メス

女ばかりの家庭の中で細々と暮らしています。

そろそろ老後の事を考えなければと思います。が、年金等はあてにならないし、預金にしてもインフレがきたら馬鹿みたいだし、遊べる時に使って、体が動く間働くしか方法はないみたいです。すね!! 歯科医は、本当に雨の日も働くことが出来る日雇労働者です。

現代では「アリとキリギリス」の話は通用しません。

先生方はどう思われます？



スポーツの広場



ゴルフ・野球・ボーリング等のスポーツを愛好し、毎週、毎月それを楽しみにしておられる先生方が多くおられます。そこで私たち市広報委員会は、スポーツの結果を季刊誌に掲載することで、ますます、スポーツを通しての友好の輪が広がることを期待しています。

これからスポーツに関すること、会員の皆様の御協力、御投稿をお願いします。

トーナメントゴルフ会

平成5年10月11日		19名				
		O	I	G	H	N
優勝	篠原 威雄	43	45	88	22	66
2位	井尾 治雄	45	47	92	21	71
3位	寺脇 博	48	44	92	19	73
4位	奈良 健一	42	50	92	18	74
5位	細川 孔	47	51	98	23	75

平成5年11月21日		27名				
優勝	木村 洋	53	50	103	36	67
2位	安田 光則	47	44	91	21	70
3位	井尾 治雄	47	46	93	20	73
4位	奥田 良樹	47	45	92	19	73
5位	河合 隆一	51	44	95	22	73

平成5年12月23日		26名				
優勝	細川 孔	46	51	97	23	74
2位	奥田 良樹	45	48	93	19	74
3位	篠原 威雄	46	45	91	16	75
4位	木村 洋	55	51	106	31	75
5位	河合 隆一	52	47	99	22	77

熊本デンタルゴルフ

平成5年11月20日		空港カントリー 20名				
		O	I	G	H	N
1位	中川 順一	41	44	85	12	73
2位	松本 光示	40	39	79	5	74
3位	松本 真典	45	39	84	10	74
4位	三笥 司	42	47	89	10	79
5位	元島 博信	48	47	95	16	79

平成5年12月30日		空港カントリー 44名				
1位	角岡 秀昭	43	41	84	12	72
2位	中川 順一	40	41	81	8	73
3位	田中 弥典	46	45	91	16	75
4位	小田 和人	40	41	81	5.6	75.4
5位	細川 孔	46	49	95	19.2	75.8
6位	三笥 司	44	40	84	8	76
7位	松本 光示	38	43	81	4	77
8位	元島 博信	44	46	90	12.8	77.2
9位	中島 義和	42	40	82	4.8	77.2
10位	坂本 末春	48	44	92	14.4	77.6

よろしく！新人です



1. 氏 名 黒 木 幸一郎

2. 住 所

(自 宅) 熊本市清水町新地744 TEL (096) 345-7218

(診療所) 熊本市清水町山室426-1 TEL (096) 346-1818

3. 生年月日 昭和38年4月10日

4. 趣 味 サッカー、ゴルフ、パチンコ etc

5. 好きな言葉

6. 経 歴 平成元年 福岡歯科大学卒業後、同大学第2保存学（ペリオ）教室入局

平成3年 福岡市またま歯科医院勤務

平成5年9月 現在地にて開業

7. 家族構成 妻：和代

長男：翔太



〈ちょっとBREAK〉

パートV

宮仕えは辛かった！ 大岡越前の超多忙な正月

江戸町奉行として庶民の英雄となり、時代劇のヒーローとしてもおなじみの大岡越前守忠相は、おおかみえんのかみだにすけ大変に忙しい正月を過ごしています。町奉行から寺社奉行に昇進した最初の正月である元文2（1737）年の元旦や2日の模様を日記に残していますが、それによると、元旦は午前7時ごろには家を出て登城、正月のあいさつなどをすませ、正午に退出、午後2時ごろに再び家を出て12人の上役宅の年始回り、午後5時前に帰宅。2日には城から退出後、25人の宅へ年始回りをしています。

武家の年賀は、玄関で取次ぎの者に新年のあいさつをすませ、すぐに帰るのが普通で、親戚やと

くに親しかった友人宅でないかぎり、屠蘇を飲んだりしなかったといえます。たしかに25人の家を回って、いちいち屠蘇を飲んでいたのでは体がもたなかったでしょう。

武家の正月の忙しさというのは、のんびりと正月を過ごした庶民とは対照的だったようです。宮仕えは楽そうに見えて本当は大変だったようです。



救急蘇生法研修会

(北2・3、東1・3、中央・川尻)

H5.11.10(水) 「3Fホール」

№	医 院 名	氏 名
1	菊 川 歯 科	菊 川 明 彦
2	中 村 歯 科	中 村 敏 之
3	川 崎 歯 科	川 崎 俊 輝
4	"	井 上 裕 邦
5	伊 東 歯 科	伊 東 隆 利
6	田 中 歯 科	田 中 弥 興
7	鳥 取 歯 科	鳥 取 孝 治
8	木 村 歯 科	木 村 浩 幸
9	伊 東 歯 科	和久田 哲 生
10	田 中 歯 科	山 下 亜希子
11	"	杉 本 まゆみ
12	"	大 江 亜 子
13	赤 城 歯 科	赤 城 公 徳
14	伊 東 歯 科	椎 葉 俊 司
15	内 田 歯 科	内 田 裕 治
16	内 田 歯 科	猪 原 美 晴
17	"	須 恵 登喜子
18	"	山 下 由美子
19	後 藤 歯 科	後 藤 俊 一
20	"	後 藤 友 枝
21	斉 藤 歯 科	斉 藤 健
22	長 嶺 歯 科	吉 村 公 一
23	"	古 賀 美 香
24	"	竹 本 真奈美
25	中 根 歯 科	中 根 俊 吾
26	西 野 歯 科	西 野 秀 隆
27	伊 東 歯 科	山 本 浩 喜
28	伊 東 歯 科	伊 東 泰 蔵
29	川 崎 歯 科	鯨 守 秀 子
30	"	木 本 陽 子
31	"	柴 田 信 子
32	成 松 歯 科	成 松 賢 二
33	伊 東 歯 科	緒 方 弘 美
34	"	下 川 敬 子

№	医 院 名	氏 名
35	岡 田 歯 科	岡 田 知 久
36	伊 東 歯 科	鈴 木 加与子
37	"	野 田 美穂子
38	"	笹 原 晴 美
39	合 沢 歯 科	合 沢 康 生
40	伊 東 歯 科	有 川 麻利子
41	"	中 林 ゆ み
42	"	金 川 葉 子
43	"	山 本 真 理
44	西 田 歯 科	西 田 宗 剛
45	"	田 中 めい子
46	"	坂 本 さゆり
47	"	吉 田 好 江
48	"	宮 本 直 子
49	伊 東 歯 科	中 馬 洋 章
50	遠 山 歯 科	遠 山 啓 介
51	岩 村 歯 科	岩 村 泰 行
52	赤城歯科医院	赤 城 邦 雄
53	菊 川 歯 科	富 田 雅 子
54	"	中 島 妃奈子
55	"	馬 渡 幸 枝
56	"	山 並 由美子
57	岩 村 歯 科	後 藤 美 穂
58	"	栗 崎 世紀子
59	"	山 田 真由美
60	中 原 歯 科	中 原 孝
61	"	鮫 田 慎 也
62	渡辺歯科医院	吉 川 英 治
63	(楠)	
64	"	井 上 公 敏
65	"	川 口 丈 夫
66		
67	伊 東 歯 科	大 塚 美 保
68	"	今 村 華 永

救急蘇生法研修会

(北1、東2・4、西、南、小島)

H5.11.12(金) 「3Fホール」

№	医 院 名	氏 名
1	ありよし 歯科	有 吉 洋
2	北 熊 本 歯科	藤 波 好 文
3	松 永 歯科 医院	松 永 久
4	長寿の里歯科診療所	迫 雅 裕
5	関 歯 科	関 剛 一
6	永 田 歯 科	永 田 省 蔵
7	山 村 歯 科	山 村 定 信
8	伊 東 歯 科	伊 東 隆 利
9	"	益 田 みつ子
10	"	梅 田 かをる
11	"	益 田 むつ子
12	"	立 花 しのぶ
13	"	椎 葉 俊 司
14	添 島 歯 科	添 島 正 和
15	西 川 歯 科	藤 原 経 子
16	浮 池 歯 科	浮 池 昌 史
17	"	米 村 恵 美
18	"	上 脇 和 枝
19	"	木場田 美津子
20	よしむら 歯科	吉 村 力
21	"	松 村 清 美
22	"	相 澤 美 晴
23	"	尾 方 富 月
24	添 島 歯 科	大 熊 一 徳
25	藤 波 歯 科	角 田 か え
26	"	宮 本 智 子
27	堤 歯 科	加 藤 久 雄
28	"	原 田 千 保
29	"	森 佐 百理
30	"	東 美 香
31	"	石 川 美 穂
32	添 島 歯 科	守 田 美代子
33	"	小 嶋 加 代
34	"	村 田 洋 美
35	"	後 藤 章 予
36	か や の 歯 科	萱 野 至 仁
37	え ふ く 歯 科	恵 福 和 志
38	中 根 歯 科	田 尻 康 代
39	伊 東 歯 科	上 村 高 徳
40	"	堀 江 亜有里
41	松 本 歯 科	松 本 光 示
42	長寿の里歯科	宮 田 尚 子
43	伊 東 歯 科	渡 辺 論

№	医 院 名	氏 名
44	"	上 野 素 子
45	井 出 歯 科	井 手 裕 二
46	古 川 歯 科	古 川 猛 士
47	蔵 田 歯 科	蔵 田 幸 一
48	弘 中 歯 科	弘 中 一 郎
49	"	弘 中 美貴子
50	"	山 内 恵 子
51	"	加 来 ち か
52	沢 木 歯 科	沢 木 孝 明
53	尾 上 歯 科	尾 上 宏
54	た ん ご 歯 科	反 後 雅 博
55	"	町 田 由 紀
56	伊 東 歯 科	栄 千 登美
57	平 成 歯 科	尾 崎 元 則
58	飽 田 病 院 歯 科	野 田 沙
59	"	野 田 信 夫
60	"	荒 木 美 樹
61	"	小 山 啓 子
62	秋 山 歯 科	秋 山 恭 介
63	奈 良 歯 科	奈 良 健 一
64	鬼 塚 歯 科	鬼 塚 友 文
65	松 岡 歯 科	松 岡 弘 毅
66	西 野 歯 科	西 野 隆 一
67	ありよし 歯科	平 野 絹 恵
68	"	吉 田 早緒美
69	伊 東 歯 科	佐久間 明 美
70	木 村 歯 科	木 村 洋
71	細 川 歯 科	細 川 孔
72	"	伊 賀 友 美
73	"	矢 野 多加子
74	"	今 村 和 美
75	坂 元 歯 科	坂 元 和 彦
76	お に つ か 歯 科	鬼 塚 啓 史
77	" (横手)	堀 田 明 子
78	"	井 上 友 美
79	伊 東 歯 科	大 長 珠 美
80	"	淀 川 尚 子
81	"	青 木 悦 子
82	"	中 尾 雪 美
83	く つ な 歯 科	忽 那 博 雅
84	前 田 歯 科	鈴 木 勝 志
85	"	鈴 木 梓
86	矢 毛 石 歯 科	矢 毛 石 豊

会 務 報 告

理 事 会

月 日	協 議 題
11月24日	第63回理事会（会務報告、委員会報告、協議）
12月20日	第64回理事会（ " ）
1月19日	第65回理事会（ " ）

社 保 委 員 会

月 日	協 議 題
11月2日	熊本市の国民健康保険制度推進月間における健康相談について 新入会員社保講習会について 歯科保険シリーズⅣ検討
12月21日	保険シリーズⅣ検討
1月11日	平成6年度事業計画案と予算案の検討について シリーズⅣ（有床義歯の説明と点数について）

厚 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月9日	新年懇親パーティーの打合せ
12月3日	同 上
1月12日	同 上
1月18日	同 上 最終打合せ

学 校 歯 科 委 員 会

月 日	協 議 題
11月19日	宮崎市歯科医師会「学校、職場の歯科健康診査について」のアンケートの回答について 熊本県学校保健研究協議会の報告について 全国学校保健研究協議会の報告について
12月17日	平成5年度の反省 学校保健会会誌 ・各部だより ・歯みがき巡回指導 ・全国学校保健協議会

口 腔 衛 生 委 員 会

月 日	協 議 題
11月16日	健康フェスティバルの反省会 フッ素塗布12月7、8日母親に対する講演内容について（30～40分） 北部地区訪問看護講演会
12月14日	幼稚園でのフッ素塗布の反省会
1月21日	本年度残り3月までの予定検討

医療管理委員会

月 日	協 議 題
11月26日	会館建設問題について 県庁歯科室設置について 税務カレンダーについて 就業規則マニュアルについて
12月8日	H6年度事業計画予算について 就業規則マニュアルについて
1月18日	就業規則マニュアルについて H6年度事業計画について 税務申告説明会（1月28日）について 産業廃棄物説明会（2月15日）について

広 報 委 員 会

月 日	協 議 題
11月2日	かわら版11月号校正
11月12日	中岳83号第2回校正
11月30日	かわら版12月号編集 中岳84号 編集 会館建設問題検討
12月7日	かわら版12月号校正 中岳83号チェック 中岳84号編集
12月21日	かわら版1月号 編集 中岳84号 編集

学 術 委 員 会

月 日	協 議 題
10月25日	救急蘇生講習会について 第15回ビデオ研修会 熊本市学術シンポジウム
11月16日	忘年会打合せ 12/2（木）1：30 H6. 1. 18（火）ビデオ研修 川崎先生「院内感染予防」 H6. 3. 13（日）咬合についてのシンポジウムプログラム打合せ 検査値の読み方チャート検討
12月23日	検査値チャート検討会

編集後記

先日の新年会の席で、私が書いた障害児の雇用の記事について、うれしい反応と暖かい言葉をもらった。「家内と一緒に読み、新たな気持ちでこの問題を考えました」とか「いい事なのでしばらく頑張ってください」という内容で参加者200余りの中3名という割合にしたら微々たるものでしかなかった。しかし記事を書いた動機や文章自体もそれ相応の苦労をしたので、数以上の支援を得たような気分になり、その日は非常にハッピーな一日でした。

このような喜びを与えてくれたのは、広報委員会に3年間在任し、各方面に目が向けられるようになったからと思う。このことを土台として、次のステップに向かって進みたい。

(永野 忠)

2期6年委員会のメンバーとして努めてまいりましたが、振り返ってみると中岳の編集をやったのが一番思い出に残っています。自分では“これでよし”と思っていたのが後から後から手直し、結局原形をとどめていなかったのが印象深かった。又、かわら版の頭の文章では順番が廻ってくるのが早いこと早いこと。また俺の番という感じでした。それもこれもいい思い出として残しておきたいものです。

(蔵田幸一)

6年間の長い長い広報活動でした。あらゆる情報をセレクトして、いかに会員の為に正しく知らせるかが広報委員としての使命だと思いますが、今一はたせなかった事があったように思います。一番ハードだった事は会終了後のチー・ポンで、午前2時までの闘いの連続でした。

(奥田良樹)

月日のたつのは早いもので3年の任期が終わろうとしています。

二期目の今回もパツとした活躍ができませんでしたが私なりに頑張ってきましたと思います。

この3年間で新しい先生との出会いもあり、寺脇理事をはじめ7人の先生方には大変お世話になりました。委員会の仕事だけでなくいろんな楽しい体験もあり本当に私にとってはすばらしい経験をさせていただきありがとうございました。

(奈良健一)

あっという間の3年間でした。委員会に加わる前の自分が如何に狭い世界におさまっていたかをこの3年間で痛感しています。

(古川猛士)

寺脇理事のもと和気藹藹とした中で仕事を楽しくさせて頂きました。まるで学生時代に戻った様な気がしました。ただ、仕事の方は生来の怠け者のせいで色々ご迷惑おかけして申し訳ありませんでした。

(恵福和志)

2年間という短い期間でしたが、私にとってとても有意義でした。

広報の仕事も少し出来るようになり、先輩の先生方の名前と顔も一致するようになり、とてもかわいがってもらいました。これからは、自分の出来る範囲内で、先輩の先生方に少しでもお役に立てればと思います。

(木村 洋)

熊本市歯科医師会会誌

第 84 号

発行日 平成6年2月25日発行

発行所 社団法人熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL (343) 6669

FAX (344) 9778

発行責任者 中 根 俊 吾

印刷所 株式会社 白 瀬

熊本県菊池郡西合志町須屋1927-1番地

TEL 096-346-1515 FAX 096-343-3303